

令和3年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	下関市火の山ユースホテル
所在地	下関市みもすそ川町7番1号
指定管理者	名称 特定非営利活動法人青少年共育活動協会
	代表者 理事長 久保 隆司
	住所 下関市後田町五丁目25番9号
モニタリングの実施方針・方法等	<p>本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。</p> <p>その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に示された項目ごとに、次葉の通り、具体的な業務の実施状況等についての確認結果をコメントしたうえで、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。</p>
担当部課 (問合せ先)	観光スポーツ文化部観光施設課
	TEL : 083 - 231 - 1838
	E-mail : sgshiset@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

■ 目標値の達成度

指標: 年間宿泊者数

(単位: 人)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	合計
目標値	6,000	6,000	-	-	-	12,000
実績値	2,190	-	-	-	-	2,190
差	△ 3,810	-	-	-	-	△ 3,810

令和3年度も引き続き新型コロナウイルス感染症の影響をまともに受け、令和2年度のような臨時休館はなかったものの、ユースホテルが強みとする交流施設としての宿泊が避けられることとなり、令和2年度に引き続き、大幅に目標値を下回りました。

今後は安心、安全な施設をPRし、宿泊者数を伸ばすことを求めます。

■ モニタリングの総合コメント

下関市火の山ユースホテルは、国籍、性別、年齢を問わず、誰もが安全に楽しく簡素に旅ができるように国際的な宿泊施設ネットワークのひとつとして、旅人同士の交流の場として、また、青少年の健全育成を図ることを目的に設置された施設です。管理運営業務の実施状況については、施設の設置目的を達成しながら、指定管理者制度導入の目的である市民サービスの向上を果たしています。

新型コロナウイルス感染症の影響で交流の場としての施設価値の新しいスタイルの形成が求められる中、安心、安全な施設として新型コロナウイルス感染症対策をしっかり講じており、清潔に施設が管理されています。

また、宿泊施設としてだけでなく、利用者増を目的にバーベキューや研修施設としての受入れを行い、着実にリピーター確保に努めています。

収支については、なかなか厳しい状況ではありますが、指定管理者の経営努力や工夫が垣間見れ評価することができます。

今後も利用者のサービス向上に努められ、よりよい施設運営を求めます。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

ホームページやSNSを通じて、多くの方にしっかりPRができていますので、引き続き、利用者数増に努めるよう求めます。

リピーターは確保できているので、新規利用者の拡大を図るため、PR方法の新規アイデアの確立を市とともに検討することを求めます。

施設はとても綺麗に管理されているので、適切な人員配置を考えながらの業務遂行を求めます。

基本的な考え方(施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮)

合目的性・公平性・効果性

施設の管理運営は、施設の設置目的に沿って運営されており、利用者への対応については、市民及び観光客が公平・平等に利用できるよう努力していました。

引き続き新型コロナウイルス感染症の影響もあり、厳しい社会情勢の中ではありますが、延年間宿泊者数は前年比わずかに増加しています。

業務内容

機能性・独創性(事業への具体的な取組み方)

特別料理の提供やイベントの実施など利用促進のための事業を適切に実施していました。また、こども自然体験塾を実施するなど、施設の特性を活かし、青少年の健全育成にも努めていました。

施設利用の許可等について苦情・問題は特になかった状況でした。

責任性・実行性(施設の運営体制や組織)

業務遂行に必要な人員配置や管理体制の維持については、以前より改善されていますが、今後更なる改善を求めます。関係条例・規則等の遵守については改善が見られました。

職員の資質の向上を目的に研修を実施するなど、施設運営の向上に努めていました。また、利用者からの意見・要望等について、迅速かつ前向きに捉え、検討し、その後の改善に役立てていました。

明瞭性・規律性(適正な事務や経理)

業務報告書や事業報告書を適切に作成していました。施設の維持管理についても計画どおり実施されていました。

安全性(安全管理、緊急時等の対応)

防災等の対応マニュアルを作成し、緊急時の対応に備えていました。また、利用者の安全を確保するための施設の保守点検、修繕等も適切に実施されており、施設の不具合等は適宜市へ報告が行われていました。また、緊急時(事故等)が発生した場合は、迅速かつ適切な対応がとられています。

新型コロナウイルス感染症対策もしっかり講じられており、良好な水準で管理されています。

社会性(環境等への配慮)

施設周辺の美化活動、自治会活動等にも積極的に参加していました。

事業収支

経済性

事業収支については、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、収支バランスが大きく崩れましたが、指定管理料の支給により収支バランスを維持しました。

団体の経営状態

経営の健全性

提出された財務諸表等を分析した結果、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けていましたが、下関市からの指定管理料や経営努力により、経営状態を例年どおり維持することができました。

しかし、今後も新型コロナウイルス感染症の影響を最小限に抑えることができるよう、管理運営の改善を進めていく必要があります。

令和4年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	下関市火の山ユースホステル
所在地	下関市みもすそ川町7番1号
指定管理者	名称 特定非営利活動法人青少年共育活動協会
	代表者 理事長 久保 隆司
	住所 下関市後田町五丁目25番9号
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。 その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に示された項目ごとに、次葉のとおり、具体的な業務の実施状況等についての確認結果をコメントした上で、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。
担当部課 (問合せ先)	観光スポーツ文化部観光施設課
	TEL : 083 - 231 - 1838
	E-mail : sgshiset@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

■ 目標値の達成度

指標:年間宿泊者数

(単位:人)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	6,000	6,100	6,100	-	-
実績値	2,190	4,065	-	-	-
差	△ 3,810	△ 2,035	-	-	-

令和4年度は実績値が目標値を下回ったものの前年度からは約85%増となっており、新型コロナウイルス感染症に対する制限緩和や旅行支援のほか、経営努力による集客も影響していると推測されます。

今後も安心安全な施設管理運営とともに企業研修、学校の部活動関係及び小中学生をターゲットにした自主事業の誘致など団体を中心とした宿泊者数を伸ばしていくことを求めます。

■ モニタリングの総合コメント

下関市火の山ユースホステルは、国籍、性別、年齢を問わず、誰もが安全に楽しく簡素に旅ができるように国際的な宿泊施設ネットワークのひとつとして、旅人同士の交流の場として、また、青少年の健全育成を図ることを目的に設置された施設です。管理運営業務の実施状況については、施設の設置目的を達成しながら、指定管理者制度導入の目的である市民サービスの向上を果たしています。

新型コロナウイルス感染症の影響で、交流の場としての施設価値の新しいスタイルの形成が求められる中、安心安全な施設として感染症対策をしっかり講じており、清潔に施設が管理されています。また、宿泊施設としてだけでなく利用者増を目的にバーベキューや研修施設としての受入れを行い、自主事業として小中学生の宿泊体験を企画した結果、おおむね好評を得るなどリピーターの確保に繋がっています。

令和4年度は条例改正等により繁忙期加算期間の変更、その他使用料の制定及び食事料の変更を行いました。これにより利用者への更なるサービス向上に努めていただくことを求めます。

収支については未だ厳しい状況ではありますが、指定管理者の経営努力や工夫が垣間見れ評価することができま

■ 今後の業務改善に向けた考え方

ホームページやSNSを通じて、多くの方にしっかりPRができていますので、引き続き、利用者数増に努めるよう求めます。

リピーターは確保できているので、新規利用者の拡大を図るため、PR方法の新規アイデアの確立を市とともに検討することを求めます。

施設は、とても綺麗に管理されているので、適切な人員配置を考えながらの業務遂行を求めます。

基本的な考え方(施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮)

合目的性・公平性・効果性

施設の管理運営は、施設の設置目的に沿って運営されており、利用者への対応については、市民及び観光客が公平・平等に利用できるよう努力していました。

新型コロナウイルス感染症や光熱費高騰化の影響もあり、厳しい社会情勢の中ではありますが、延年間宿泊者数は前年度比で約85%増加しています。

業務内容

機能性・独創性(事業への具体的な取組み方)

特別料理の提供やイベントの実施など利用促進のための事業を適切に実施していました。また、こども自然体験塾を実施するなど、施設の特性を生かし、青少年の健全育成にも努めていました。

施設利用の許可等について苦情・問題は特になかった状況でした。

責任性・実行性(施設の運営体制や組織)

業務遂行に必要な人員配置や管理体制の維持については、以前より改善されていますが、今後、更なる改善を求めます。関係条例・規則等の遵守については改善が見られました。

職員の資質の向上を目的に研修を実施するなど、施設運営の向上に努めていました。また、利用者からの意見・要望等について、迅速かつ前向きに捉え、検討し、その後の改善に役立てていました。

明瞭性・規律性(適正な事務や経理)

業務報告書や事業報告書を適切に作成していました。施設の維持管理についても計画どおり実施されていました。

安全性(安全管理、緊急時等の対応)

防災等の対応マニュアルを作成し、緊急時の対応に備えていました。また、利用者の安全を確保するための施設の保守点検、修繕等も適切に実施されており、施設の不具合等は適宜市へ報告が行われています。また、緊急時(事故等)が発生した場合は、迅速かつ適切な対応がとられています。

新型コロナウイルス感染症対策もしっかり講じられており、良好な水準で管理されています。

社会性(環境等への配慮)

施設周辺の美化活動、自治会活動等にも積極的に参加していました。

事業収支

経済性

事業収支については、光熱費高騰の影響もあり収支バランスが崩れましたが、特例協定により指定管理料を支給し、収支バランスを維持しました。

団体の経営状態

経営の健全性

提出された財務諸表等を分析した結果、新型コロナウイルス感染症及び光熱費等高騰の影響により支出負担が大きく、特例協定による指定管理料の支給もありましたが、指定管理者の経営努力により指定管理料は最小限に留めた上で経営状態を維持することができました。

今後も新型コロナウイルス感染症等の影響を最小限に抑えることができるよう、管理運営の改善を進めていく必要があります。